

ワイルドフラワーによる 緑花のポイント

雪印種苗㈱ 千葉研究農場

西川 勝己



1 大面積の緑花にはワイルドフラワーを

近年、各方面で環境美化に対する意識が急速に高まっています。国や地方自治体が取り組む「花のまちづくり運動」や「都市緑化」に関するイベント、農村や牛舎まわりの景観の向上など、積極的に取り組まれています。このような場所では、必然的に花が求められ、また、積極的に花を導入する動きがみられます。

しかしながら、当然その目的（場所や期間）により、使用する花や緑の種類、素材（球根、種子、ポット苗など）は違ったものとなります。

それぞれの場面に合ったものを選ぶことが必要ですが、環境緑化など、大面積を花や緑で修景する場面では、コストや管理の手間が比較的少ないワイルドフラワーが適しています。

以下に、ワイルドフラワーによる緑花について紹介いたします。

2 ワイルドフラワーとは

「ワイルドフラワー」とは、文字どおり訳せば「野生草花」となりますが、そればかりではなく、園芸用草花も含まれます。

安価で、種子などによって容易に繁殖でき、やせ地や放植でも美しい花を咲かせることができる草花の総称です。

3 利用する場所

道路法面、中央分離帯、造成地の空き地、牛舎の周辺、花壇など（写真1、2）に適し、比較的安い費用で、空間を花で飾りたいところなら、どこでも利用できます。



写真1 道路沿いの始金魚草



写真2 コスモス（千葉・幕張新都心）

4 利用する種類

次に挙げるような目的や用途によって、用いる草種を選択します。

1) 期間

開花を楽しむ期間（短期間または長期間）に

より草種や草種数を考えます。

★短期間（1～2か月）

1種類のみの使用で緑花可能です（写真3）。

★長期間（3か月～数年）

1種類のみの利用では困難で、数種から20数種類の草花をブレンド（写真4）して利用します。

2) 時期

開花させたい時期により、種をまく時期も決まります。播種時期に合った草種を選択します（表1）。



写真3 菜の花



写真4 スノーミックスフラワー・ロアータイプ

表1 ワイルドフラワーの性質

	播種期	開花期
春まき1年草	春～初夏	夏～秋（当年）
秋まき1年草	秋	春～夏（翌年）
2年草	春～夏	春～夏（翌年）
宿根草	春～秋	播種当年 または翌年の開花期



写真5 ひなげしの赤



写真6 ネモフィラの青



写真7 黄花コスモスの黄

3) 花色

好みに合った花色を利用します（写真5, 6, 7）。

4) 草丈

草丈の高低を考慮し、選択します。また、草種によっては、播種時期を遅らせることによって丈を低くしたり(春まき草花に多い)、刈り込むことで低く抑えることができるものもあります。

5 栽培・管理のポイント

ワイルドフラワーを利用する際に、雑草の発生や草種の片寄りや環境の悪さなどが開花の景観に大きな影響を与えます。そこで、それらの問題を少しでも解消するため、各作業でのポイントを紹介します(図1)。

1) 播種準備

①耕うん

堆肥や化成肥料、土壤改良資材を混ぜ、耕うんします。水はけ、肥料もちなど問題(写真8)があれば改善します。

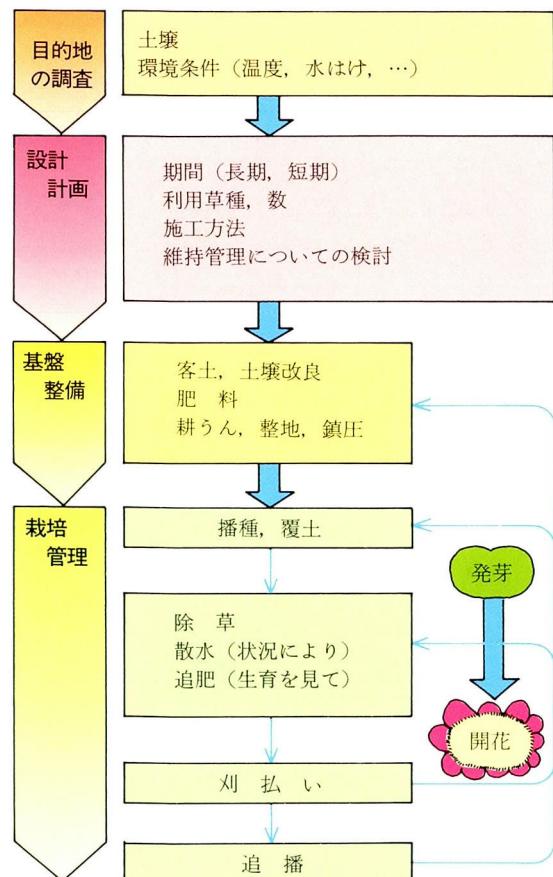


図1 ワイルドフラワーによる緑花の手順



写真8 菜の花、地力に差があり、生育がまばら

②除草

播種する前に、できる限り雑草を取り除いておきます。状況によって除草剤(ラウンドアップなど)を利用します。

③肥料

畑地などでは、肥料は特に必要ありませんが、新墾地など肥料分の少ないところでは、化成肥料を40~50 g/m² (窒素成分量で2~3 g/m²程度) 施します。後は生育を見ながら必要に応じて追肥します。

2) 播種

種子を「ばらまく」散播では除草が非常に困難です。雑草の心配がある場所では、雑草を取りやすくするため、すじ状に種子をまきます(写真9)。すじの間隔は30~60 cm程度とし、すじの間に入って作業ができるようにします。



写真9 すじまきでの発芽

播種後、種子が隠れる程度に薄く覆土し、鎮圧しておきます。

3) 除草

花の苗がすじ状に発芽するので、そのすじとすじの間を除草します(写真9)。手取り、刈払い機、管理機など、利用可能なもので除草します。すじの間隔は、この除草の器具や機械の幅より少し広くとります。なお、除草は小さいうちにできるだけ早めに行います。

4) 刈払い

春と秋、開花のピークが過ぎると花がらが目立つようになります。結実した種子が落ちるのを



写真10 草種の片寄り、白と黄がほとんど

待ち、また、除草も兼ね、下から30~40cmのところで刈払います。

5) 追播

草種に片寄り(写真10)が見られた場合や薄くなったところには種子を追播します。

6さいごに

—どの程度の美しさを期待するか—

イベントや公園の花壇など最高の花を見せる場面では、前述の管理を完璧に行う必要があります。また、多少の雑草の混入が許され、野生の花畠のような景観でよいなら、あまり手間をかけなくてもよいのです。

開花時の景観をどの程度美しくするかで、管理の程度も変わります。それぞれの目的に合わせて管理をし、ワイルドフラワーによる緑花をおおいにご活用下さい。

なお、弊社では利用目的や地域別にワイルドフラワーをブレンドした「スノーミックスフラワーシリーズ」を販売しております。目的に応じた各タイプがありますので、どうぞご利用下さい。また、注文に応じたミックスもできますので、お近くの営業所にご相談下さい。

雪印推奨図書案内

◎イネ科・マメ科牧草の主要病害を写真入りで解説！

原色 「牧草の病害」

A5判 200頁 西原 夏樹著 頒価 3,000円

◎アルファルファの品種・栽培・病害虫・収穫調製などを網羅！

新刊 「アルファルファ(ルーサン)」—その品種・栽培・利用—

A5判 250頁 鈴木 信治著 頒価 3,000円

◎酪農家のバイブル、サイレージ調製には、これ一冊でOK！

微生物のパフォーマンスとその制御 「サイレージバイブル」

A5判 124頁 監修 高野 信雄 安宅 一夫 頒価 1,000円

◎植物ホルモンに関しては、これ一冊でOK！

作物の収量・品質向上への期待 「サイトカイニンバイブル」

A5判 125頁 編著 菅田 隆治 頒価 2,000円

★いずれも送料、消費税込み価格、お申込みは最寄の弊社営業所へ